

こだま新聞

第196号
平成24年2月

う蝕の抑制

昔も今も、「う蝕（虫歯）にならない薬があれば」と思う気持ちは同じでしょう。ちょっと古い論文ですが、う蝕の原因菌として代表的なミュータンス連鎖球菌（以下MS菌）にまつわる研究について紹介します。

1998年英国のレイナーらは増殖阻止効果のある抗体（抗MS菌抗体）の報告をしました。報告では「歯の表面にこの抗体を塗布することで約4カ月間MS菌が検出されなかった」としています。

ただし、報告では効果を維持するには「定期的に抗体を塗布する必要がある」そうです。日本ではこの抗体の臨床追試験を行いました。追試中に面白いことがわかりました。抗体を塗布する前に歯の表面を徹底的に清掃した結果、

抗体を塗布した歯だけでなく塗布しない歯も数ヶ月に渡りMS菌だけが特異的に減少したのです。この結果を元にした新たなう蝕予防方法が始まりました。これは3DSと呼ばれている方法で、

様々な器具や薬品を使ってMS菌を徹底的に除去する治療です。



このう蝕予防治療にも欠点があります。う蝕があると3DSを行ってもすぐに口の中にMS菌が増えてしまうそうです。

学校の健診ではう蝕の指標にCOというのがあります。「う蝕要注意」という意味ですがう蝕の歯数には入れません。でも、そこにはMS菌が存在しますから3DSを行っても残念ながら効果が望めないことになりま

また、抗体にも限界があるようで、一度MS菌が増殖してコロニー（細菌の集落）を形成してしまうと抗体の効果が望まれないそうです。



やはり、う蝕の予防は健診と早期治療が一番のようです。今のところはね。

医聖祭2012

今年の医聖祭の担当町は潟上市大久保。佐々木医院の若先生が幹事となつて1月7日に開催されました。

五城目町の重鎮、笹尾先生や田口先生がご欠席されて少し寂しい新年の行事となりましたが、新たに大坂先生が参加されるなど若い先生が参加されて少し活気が出てきました。湖東総合病院院長中鉢先生や以前、湖東病院院長をされていた小玉先生も参加されました。この医聖祭りは昭和のはじめにはすでに開催されていたようです。一年の安全を祈願し意見交換する日です。



湖東医和会主催 医聖祭 会場は大久保小野旅館



熱唱するのは 千葉先生・鈴木先生・佐藤先生

今月の行事

2月

- 3日 秋田信金新年会
- 4日 大潟村国際料理教室
- 10日 男鹿・柴灯祭
- 10日 湖東・町人郎潟地区交流会
- 11日 あきたロシア音楽祭
- 14日 仙北・火振りかまくら
- 15日 横手・かまくら
- 16日 潟上市南秋学校保健会